

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【姫山小学校】

<第3学年：ふるさと姫山>

社会科や総合的な学習の時間に、姫山地区の自慢について話し合おうと、「昔からある古い場所やものがたくさんある」という意見が出てきた。そこで、副読本「ふるさと姫山」を用いたり、その場所を見学したり、そこで質問をしたりして、詳しく調べた。児童は、姫山地区の方々を守り、受け継ごうと努力してきたおかげで、自分たちが暮らせていることを理解することができた。姫山地区は、便利に暮らせるだけでなく、昔の人の思いを大切に守ってきたことが自慢だと感じ、自分たちが姫山地区のことをより好きになって、たくさんの自慢をこれからの未来に伝えることが大切だという思いをもった。



<第4学年：守ろう！ぼく・わたしの町 ～思いやりの心で共に生きる～>

自分たちが暮らす姫山地区について、「住んでいる人は幸せなのか」という問いを立て、障がいがある方々と交流を行った。視覚、聴覚に障がいのある方との交流では、その方々の生活の様子を聞き、それまで知らなかった生き方や考えに触れることができた。そして、「福祉はみんなのためにある」という考えに共感し、SDGsの主旨とつながる学習ができた。調べたことや交流で感じたことを、学校の友達や地域に発信する意欲が高まった。ガイドヘルプ体験や福祉施設の方のご協力で実施した車椅子体験も、社会の中で自分にできることを考える一助となった。

